

# 食から始める地球温暖化対策



12月は地球温暖化防止月間です。消費されないまま廃棄される食品を少なくすることは、家計の節約になるだけでなく、地球温暖化対策につながります。この特集では、食品ロスの現状と身近にできることを紹介します。

市民課環境政策班 ☎22・9126

## 地球温暖化の影響が身近に

近年、私たちが暮らす平戸市でも、地球温暖化が原因と考えられる記録的な高温や集中豪雨などの異変が観測され、日々の生活の中で多くの影響が出てきています。

こうした影響を少しでも抑えるためには、日々の生活を見直していくことが大切です。

## 食品ロスの現状

その取り組みの一つとして「食品ロスの削減」が挙げられます。食品ロスは、本来、食べることができののに、捨てられてしまう食品のことです。

日本国内では、令和5年度環境省の推計で、年間約464万トンもの食品が廃棄されています。これは一日に一人当たり、おにぎり約1個分

に相当し、4人家族の一世帯あたりが捨てる食品を金額に換算すると、年間約6万円以上に相当するとも言われています。

## 食品ロスと地球温暖化の関係

廃棄された食品を焼却する際、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)が発生します。そのため、食品ロスを削減することは、地球温暖化防止にとっても欠かせない重要な取り組みです。環境への負担を減らすためにも、日々の買い物や食事の際に意識することが求められます。

## 私たちにできること

私たちの小さな心がけの積み重ねが、地球温暖化の防止や家計の節約につながります。皆さんも食品ロスの削減を心がけましょう。

## 身近にできる食品ロス削減の取り組み紹介

### てまえどり

すぐ使う商品は、商品棚の手前からチョイス

### 必要な分だけ買う

まとめ買いを避け、必要な分だけ買って食べる

### ローリングストック

冷蔵庫の中は賞味・消費期限が近い食品を手前に

### 残り物から使う

「いつか食べる」食品は、食品ロス予備軍

## ご家庭に眠る食品を、必要としている人へ届けませんか？

「つなぐBANK」では、地域の皆さんから家庭で余っている食品を預かり、支援を必要とする人へ届けるフードバンク活動を行っています。未開封かつ賞味期限が1カ月以上ある食品(生鮮食品は不可)で、家庭で使いきれずに眠っている食品がある場合は、ぜひこの活動にご協力ください。※詳細については、「つなぐBANK」のホームページをご確認ください。

詳細はこちら▼



## 緑のカーテンコンクール

夏場の消費電力を抑制しCO<sub>2</sub>排出を削減する緑のカーテン事業に、今年度は平戸市内115の施設・家庭が取り組みました。

保育施設の部、教育施設の部、一般家庭の部、福祉・民間事業所の部、特別賞で、それぞれ3施設・家庭の優秀賞を選出し、11月15日に平戸文化センターで開催された「第4回ひらどエコフェスタ・2025ひらど消防フェスタ」で表彰されました。



### 保育施設の部

- 最優秀賞 ▶東和愛児園
- 優秀賞 ▶中津良保育所
- ▶度島町へき地保育所

### 教育施設の部

- 最優秀賞 ▶大島小学校
- 優秀賞 ▶津吉小学校
- ▶生月小学校

### 一般家庭の部

- 最優秀賞 ▶森本 さん
- 優秀賞 ▶久松 さん
- ▶大村 さん

### 福祉・民間事業所の部

- 最優秀賞 ▶介護老人保健施設 ひらどせとデイサービス
- 優秀賞 ▶特別養護老人ホーム わだつみの里
- ▶特別養護老人ホーム 田平ホーム

### 特別賞

- アイデア賞 ▶愛の園保育所
- ▶光の園保育園
- ▶山田小学校
- 努力賞